

さらなる友好関係の発展を誓い

中国天台県と友好交流協定を締結

町は6月28日、中華人民共和国浙江省天台県と友好交流に関する協定を締結しました。本町が海外の都市と協定を締結するのは初めてで、今後教育や観光などで交流が深まることが期待されます。

相互の発展に期待

町と天台県による友好交流協定締結式は6月28日、同県内のホテルで挙行されました。式では本町の高橋一男町長と天台県の黄繼満県長が、青木幸保町議会議長、南館廣太郎教育長、千葉喜一企画担当課長と天台県の朱李益人大常委、中国語版の友好交流に関する協定書にそれぞれ署名。両町県のさらなる理解と友好関係の発展を誓いました。同県とは、平成10年に町議会議員団が訪問して以来、教育や文化などで互いに交流を積み重ねてきました。

協定の主な内容は、日中共同声明や日中平和友好条約の精神に基



協定書にサインをしがっちりと握手を交わす高橋町長(左から2人目)と黄県長

中国天台県との交流経過

年月	内容
10年10月	町議会議員海外研修で天台県を訪問
11年5月	天台県委員会一行8人が来町
12年2月	町内小中学校児童生徒の習字などを送る
12年5月	町訪問団一行6人が天台県を公式訪問
12年6月	天台県交流3校の生徒作品を役場などに展示
13年6月	天台県教育関係者一行9人が来町
14年2月	町内小中学校児童生徒の学校活動写真を送る
14年10月	町議会議員有志らが天台県を訪問
15年8月	中国天台宗関係者一行9人が来町
19年5月	町訪問団一行6人が天台県を訪問
19年7月	天台県要職者一行9人が学校訪問来町
22年6月	天台県にて友好交流協定を締結

つき、両町県民の相互理解と友好関係をさらに発展させるため、双方は、平等互恵の基礎の上に、文化、教育、産業、観光などの各分野において交流と協力を進め、両町県の相互の繁栄と発展を推進する。双方の指導者と関係部門は真摯に協議を行い、相互の連携を図りながら交流と協力を推進する。などとなっています。

天台から伝えられた仏教文化が流れています。今日に至るまでの天台県との友好交流が平泉の世界遺産登録に一層拍車をかけることになると確信しています。天台県と平泉町との友好交流がますます深まり、天長く地久しく続くことを衷心から願います」とさらなる友好関係の発展を祈りました。

また天台県訪問中には、町内の小中学校と交流のある天台小学校などを訪問。地元小学生の歓迎を受け、校長先生との懇談や授業風景を見て回り、子どもたちの交流促進に期待を寄せました。



上 友好協定締結書と友好の記念として送られたガラス製の盾 / 下 訪問団を迎える天台県赤城第三小学校の子どもたち



▶天台山国清寺の山門

天台宗発祥の地

天台県は上海から南へ約400キロのところ、位置し、総面積が約1426平方キロ。その7割が森林を占める。総人口約57・5万人の山あいの都市です。農業では牧畜業が盛んで、農業生産額の約半分を占めています。このほか漢方薬やお茶の栽培も盛んに行われています。

また中国天台宗発祥の地とされる天台山国清寺を有する都市でもあります。奥州藤原時代には中国と交流があったことを示す遺物が多数出土しており、中国文化交流があったことがうかがえます。

農業視察団が来町

協定を締結して間もない7月11日、天台県農業視察団一行が町内の畜産農家やりんご農園を訪れました。訪れたのは蔡文新副県長ら6人で、町内農家の経営状況や農業の使用手法など経営者から熱心に聞いていました。

このうち有限会社大文字りんご(尾川馨代表取締役)では、農業を抑えた安全安心な生産方法と農園管理やブランド化に取り組んでいることに関心を持っていました。



▶(有)大文字りんご岩刺取締役(左)の説明を聞く農業視察団一行